



第38回古牧地区ふるさと文化芸能祭

11月3日(水)文化の日に第38回古牧地区ふるさと文化芸能祭が開催されました。

昨年同様コロナ禍の中で展示部門のみとなり芸能部門は中止でした。コロナ感染予防のため「来場者の手指消毒の徹底・検温・受付名簿作成・会場内は窓を開け換気」を行いソーシャルディスタンスを確保。「入場制限・作品展示方法の工夫・来場者の誘導」など考えられる対策を駆使し開催することができました。

展示部門は昨年より出品が多く86点の作品が出品されました。書、手芸、工芸、絵、写真、ちぎり絵、生花、パッチワーク、陶芸、レザークラフト等、地区の皆さんの作品はどれも力作で、中にはプロ級の作品もあり魅了されました。「あの作品はどう描いたの」、「この作品はどの様に撮



ったの」、「これはどの様な材料で作ったの」など皆さん興味津々で見入っていました。

和室では「いけばなこども教室」が開催され小・中学生のすばらしい作品が飾られ、174の方が来場されました。

来年は芸能部門も合わせて開催されることを願いつつ令和3年の古牧地区ふるさと文化芸能祭は終了しました。(公民館部)

「座学・男性の料理教室」レシピ集もあります

11月16日(火)に開催されました「座学・男性の料理教室」! 頭の中が“?”マークになってしまう見出しですが、テレビクッキング風といえはイメージできるでしょうか。このコロナ禍、公民館の調理室が使用できず、現在も制約があるため調理を伴う「男性の料理教室」は中止としています。

そこで思いついたのが座学での料理教室。あらかじめ講師の先生に料理をしていただい



て動画を撮り、それをスクリーンに映して学ぶというスタイル。講師の食生活改善推進協議会(通称「食改」)会長の伊藤君代先生の「歯切れのいい説明と大きくきれいな画面でとてもわかりやすかった。」との感想が寄せられました。併せて過去4年分のレシピを綴った「レシピ集」も作り配布しました。

「男性の料理教室」は男性の地域社会活動への参加のきっかけをつくる「男性のデビュー事業」の一つとして福祉健康部が取り組む事業です。来年度は通常の活動ができることを願うと同時に是非多くの男性のみなさんにご参加いただけることを願っています。

レシピ集についてのお問合せ先
古牧ボランティアセンター 電話244-8159

(福祉健康部)

川端天神社 登龍門祈願祭

古牧郷土史研究会 倉石 修嗣郎

中国黄河上流に「龍門」という急滝があります。もし鯉がこの滝を登りきることができると、たちまち龍となって天空を駆け巡る事ができるという伝説があります。登龍門とは「非常に困難を突破して成功する、立身出世の為の関門」という意味に使われています。

高田の川端天神社では春季例祭、虫干し、秋季例祭、大祓い祭、元旦祭の他、登龍門総代を中心に大勢の氏子が実行委員となり、毎年正月三日に登龍門祈願祭を行っております。

川端天神社の祭神は「菅原道真公」で学問の神様と言われていることから、合格祈願、学業向上、就職祈願の他、家内安全、交通安全等様々な

祈願ができます。絵馬に願い事を書き登龍門をくぐって奉納します。また、一般祈願に先立って新年度小学校入学予定の幼児を対象に宮司より「入学祝い」「学業成就」の祝詞を賜る「特別祈願」も行っております。

平成七年の第一回より令和四年の正月で、二十八回目の祈願祭となります。毎年区内外から大勢の祈願者が天神社を訪れます。



娑婆鉛筆

紅葉狩りに行ってきました

10月下旬、白馬村へ一泊二日の紅葉狩りに行ってきました。中条経由のオリンピック道路を「道の駅中条」、「道の駅おがわ」に寄り道し、紅葉の山々を眺めながら向かい夕方にはホテルに到着しました。このホテルは長野県民割りのチラシを見て予約した所です。宿泊料は約半額で、おまけに一人二千元分のお買物券が付いていて大変お得なプランでした。

二日目は、八方ゴンドラリフト「アダム」に乗り、うさぎ平駅まで行きました。標高差630m全長2060mを約8分かけて上昇していきます。この間、紅葉の移り変わりが楽しめました。うさぎ平の標高は1400m、クワッドリフトを乗り継いでさらに上の第1ケルン(八

方池山荘)まで行くこともできましたが、上では小雪が舞っているとのことで今回は断念しました。

うさぎ平でも風がありさすがに寒かったです。それでも、青空のなかに冠雪した北アルプス連峰の雄大な山並みには感動しました。また、ハンググライダーが飛び立つところも見られとてもよかったです。その後、「道の駅白馬」に寄り仁科三湖を経由して穂高神社まで行き参拝しました。境内では盛大な菊花展が開催されていて、とても綺麗でした。

コロナ禍の中でのささやかな家族旅行でしたが、それぞれの観光地の駐車場では県外ナンバーがいっぱいでした。収束傾向ではありますが、まだまだ気を緩めずに行動したいと思います。(田尻 茂)

12月から1月までの主な行事実施日のお知らせ → 回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和3年11月1日現在

11,731世帯

(男 13,162人

26,697人

女 13,535人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話 259-8359・FAX 219-1057)
(E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp)
- 発行者 児嶋 孝
- 編集 ぶらネットこまき編集委員会
- 印刷 SR



HP
ご覧ください